

令和8年6月12日14時00分

近畿地方整備局

大阪国道事務所

道路メンテナンス新技術デモンストレーション体験会3.0の出展技術を募集します
～見て・触れて・学ぶ、現場実装の最前線～

大阪府道路メンテナンス会議事務局では、道路メンテナンス分野における新技術の理解促進、実務への導入検討及び維持管理の高度化・効率化を目的として「道路メンテナンス新技術デモンストレーション体験会3.0」の開催を予定しています。

このたび、体験会において、現地実演、展示、説明を行う出展技術を、公開公募により募集します。

1. 開催日時

令和8年10月22日(木)、予備日:令和8年11月5日(木)予定

※小雨決行、雨天時は中止

2. 開催場所

とよさとおおほし

大阪市旭区太子橋2丁目豊里大橋南詰 高架下

※関係機関との調整状況により、日程・場所等が変更になる場合があります。

3. 出展費: 無料

4. 対象: 大阪府内の全ての道路管理者、大学・専門学校・高校の学生、建設コンサルタント等

5. 募集分野:

1. 橋梁の近接困難部・画像取得・3次元記録
2. コンクリート構造物の表面診断・内部診断
3. 道路附属物・鋼材の健全性確認とモニタリング
4. 水中・近接困難部の調査技術
5. 路面下空洞調査・舗装・道路巡視の効率化

※応募状況、会場条件等を踏まえテーマ構成、配置は調整する場合があります。

6. 募集対象

道路メンテナンスに資する新技術を有し、当日の展示・実演・説明が可能な企業、団体等。

なお、点検支援技術性能カタログ掲載技術、NETIS登録技術、その他道路施設の点検、診断、維持管理、発注者支援等に有効と考えられる技術を含みます。

7. 応募時に確認する事項

企業・団体情報、技術名、対象分野、NETIS登録、点検支援技術性能カタログ掲載の有無

技術概要、特徴、自治体への導入しやすさ、当日の実演、プレゼン内容、仕様機材、必要スペース等

8. 申込方法: 右の Form からお申し込みください。 <https://forms.office.com/r/P9Tb3pWBGk>

補足資料(パンフレット、NETIS資料、点検支援技術性能カタログ掲載資料等)がある場合は別途電子メールで提出してください。詳細は、大阪国道事務所 HP に掲載する募集要領及び応募フォームをご確認ください。



9. 申込期限: 令和8年7月3日(金)17:00

10. 想定出展者数: 20社程度

11. 今後の予定: 7月下旬までに選定結果をお知らせします。

<取扱い>

<配布場所>

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、堺市政記者クラブ、在堺記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所
総括保全対策官 辻脇 崇(つじわきたかし)
TEL(06)6932-1452

道路メンテナンス新技術デモンストレーション体験会 3.0

— 見て・触れて・学ぶ、現場実装の最前線 —

出展技術募集要領

1. 目的

本体験会は、道路メンテナンス分野における新技術について、現地での実演・展示・説明を通じて、道路管理者、建設コンサルタント、学生等が見て・触れて・学ぶ機会を提供し、技術の理解促進、実務への導入検討、維持管理の高度化・効率化につなげることを目的とする。

特に、点検支援技術の活用原則化や近年の社会的要請を踏まえ、導入しやすく、効果が見えやすく、発注者支援につながる技術を重視する。

2. 体験会の概要

名称 道路メンテナンス新技術デモンストレーション体験会 3.0

主催 大阪府道路メンテナンス会議事務局（大阪国道事務所、大阪府、大阪市、堺市、高速道路会社）

開催日時 令和8年10月22日（木）予定 / 予備日：令和8年11月5日（木）予定

開催場所 大阪市旭区太子橋2丁目豊里大橋南詰 高架下

出展費 無料

※関係機関との調整状況により、日程・場所等が変更となる場合がある。

対象者 大阪府内の全ての道路管理者・大学・専門学校・高校の学生・建設コンサルタント等

3. 募集分野

現時点では、以下の分野を中心に出品技術を募集する。ただし、応募状況、会場条件、安全性、実演性等を踏まえ、最終的なテーマ構成・配置は調整する場合がある。

(1) 橋梁の近接困難部点検・画像取得・3次元記録

例：ドローン、画像計測、3次元記録、損傷図作成支援、近接困難部の点検支援技術

(2) コンクリート構造物の表面診断・内部診断

例：ひび割れ・浮き・剥離等の表面診断、内部状況把握、非破壊検査技術等

(3) 道路附属物・鋼材の健全性確認とモニタリング

例：標識柱・照明柱等の基部調査、鋼材腐食・板厚確認、ケーブルモニタリング等

(4) 水中・近接困難部の調査技術

例：水中ドローン、水際・水中部調査技術、近接困難部の確認技術等

(5) 路面下空洞調査・舗装・道路巡視の効率化

例：路面下空洞調査、舗装診断、道路巡視支援、車載型・AI活用技術等

4. 応募対象

道路メンテナンスに資する新技術を有し、当日の展示・実演・説明が可能な企業、団体等を対象とする。

なお、点検支援技術性能カタログ掲載技術、NETIS登録技術、その他道路施設の点検、診断、維持管理、発注者支援等に有効と考えられる技術を含む。

5. 応募にあたって提出を求める内容

(1) 基本情報

- 企業・団体名
- 担当者名、連絡先

- 技術名
- 技術の対象分野
- NETIS 登録番号、点検支援技術性能カタログ掲載有無（該当する場合）

(2) 技術概要

- 技術の特徴
- 従来技術との比較における優位性
- 想定される活用場面
- 発注者にとってのメリット
- 自治体等にも導入しやすいかどうか

(3) 当日の実演・プレゼン内容

- 実演内容
- プレゼン内容
- 見学者に見てもらいたいポイント
- プレゼン時間の目安
- 実演の成立に必要な条件

(4) 使用機材等

- 当日持ち込む機材
- 車両の有無
- 水際作業、飛行、走行等の有無

(5) 必要スペース等

- 必要面積
- 机、椅子等の要否
- 実演スペースと説明スペースを分ける必要があるか
- 安全確保のために必要な離隔等

(6) 安全管理・留意事項

- 想定されるリスク
- 必要な安全対策
- 雨天時の対応可否
- 予備日対応可否
- 騒音の有無

6. 主催者側で想定している会場条件等

- 受付・本部は橋の右側（来場者導線側）に設置予定。
- 橋の東側の土場・グラウンドではドローン、附属物模型、鋼材・ケーブル関連の展示等を想定。
- 橋脚・高架下では、コンクリート構造物の診断技術の実演を想定。
- 河道・水際では、水中・近接困難部調査技術の実演を想定。
- 河川と並行に走る通路では、路面下空洞調査、舗装・道路巡視関連技術の実演を想定。
- 主催者側では、本部・受付テント、机、椅子、案内サイン、カラーコーン等の準備を想定している。
- 専門機材、模型、実演に必要な特殊資機材等は原則として出展者側で準備すること。
- 最終的な配置は、応募内容、安全性、会場条件、関係機関との調整結果を踏まえて決定する。

7. 選定の観点

- 体験会の趣旨との整合性
- 導入しやすさ
- 効果の分かりやすさ
- 発注者支援への有効性
- 実演性、体験性
- 安全性
- 会場条件との適合性
- 分野間のバランス

※応募多数の場合は、上記観点を踏まえ、出展者数や配置を調整する場合がある。

8. 応募方法

応募者は、所定の応募フォーム（Microsoft Forms）により必要事項を提出すること。

<https://forms.office.com/r/P9Tb3pWBGk>



補足資料（パンフレット、NETIS 資料、点検支援技術性能カタログ掲載資料、安全対策資料、実演イメージ図等）がある場合は、別途電子メールにより提出すること。ただし、補足資料は PDF 形式とし、3 ファイル以内で各ファイル A 4 版 2 頁以内を目安とする。

提出先 大阪国道事務所 総括保全対策官 辻脇 崇 E-mail : tsujiwaki-t86pe@mlit.go.jp

9. 応募期限

令和 8 年 7 月 3 日（金）17 時まで

10. 留意事項

- 出展の可否は、応募締切後に選定のうえ通知する。
- 応募内容について、必要に応じて主催者から追加確認を行う場合がある。
- 会場条件や関係機関との調整状況により、実演内容や配置等について相談・変更をお願いする場合がある。
- 天候、河川条件、関係機関との調整状況等により、開催内容を変更する場合がある。
- 参考として添付するレイアウトイメージ図は現時点での案であり、最終配置を確定するものではない。

11. 問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所

担当：総括保全対策官 辻脇 崇

TEL：06-6932-1452

E-mail：tsujiwaki-t86pe@mlit.go.jp

豊里大橋 新技術デモンストレーション体験会 レイアウトイメージ (案)

駐車場 (来場者用)
※会場ではありません。
(イベント会場エリア外)

来場方向

5 水中・近接困難部の調査技術
水上ドローンによる
橋脚・堤岸の調査

3 コンクリート構造物の
表面診断・内部診断
橋脚・桁下面の表面診断、
内部診断 (電磁波・打音等)

1 受付・本部
受付テント・本部テント
(案内・救護・総合案内)

2 橋梁の近接困難部
点検・画像取得・3次元記録
単管パイプ足場を用いた
ドローン点検・画像取得・
3次元データ記録

4 道路附属物・鋼材の
健全性確認とモニタリング
標識柱・照明柱の基部探傷
モデル展示とケーブルの
モニタリング展示 (ケーブルサンプル)

6 路面下空洞調査・
舗装・道路巡視の効率化
路面下空洞探査車による調査
(レーダー・地中レーダ等)と
解析結果の説明

開催のポイント

- ・新技術を見て・触れて・体験できる体験会を開催
- ・見学者動線に沿って、各ブースを回遊
- ・実演・計測デモにより、技術の効果を実感
- ・本部・デジタル支援で情報提供・相談に対応

---> 見学者動線 (推奨ルート)
---> 調査車両動線 (アスファルト舗装路)

ドローン点検・3次元記録

表面診断

内部診断

調査結果の説明

探傷モデル/モニタリングサンプル

ケーブルサンプル
モニタリング